

背景・目的

- ・センサーやAIカメラ、スマホアプリなど、新技術や新たなデータの登場により、より早く、細かくまちの変化が捉えられるように。複雑・多様に変化する都市課題や人々のニーズに対して、新たなデータを活用することによって、よりの確で機動的なまちづくりが可能に。
- ・一方で、新たなデータを活用したまちづくりが全国各地で進められる中、取組方法などのノウハウが不足。

[新たなデータの例]

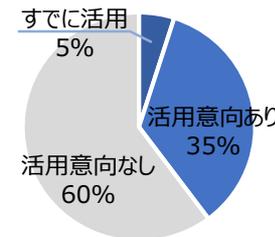
<b>人流</b>	スマホアプリの位置情報、	<b>土地</b>	衛星、BIM/CIM、	<b>消費</b>	POS、	<b>防災</b>	水位センサー、
<b>交通</b>	AIカメラ・センサー、交通IC	<b>建物</b>	3D都市モデル	<b>経済</b>	地域ポイント	<b>環境</b>	SNS

多くの市町村や民間事業者に向けて、**新たなデータを活用したまちづくりの取組の意義、考え方、留意点** = “ヒント”や、**全国の取組の“事例”**をわかりやすく解説

[参考] 市区町村の実態調査結果 n=1727

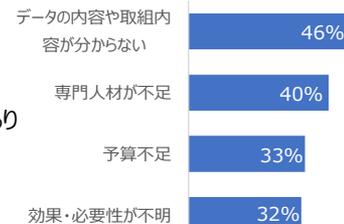
新たなデータの活用状況

約4割の市区町村が、まちづくりへの新たなデータの活用ニーズあり



データ活用の課題

多くの自治体でノウハウが不足



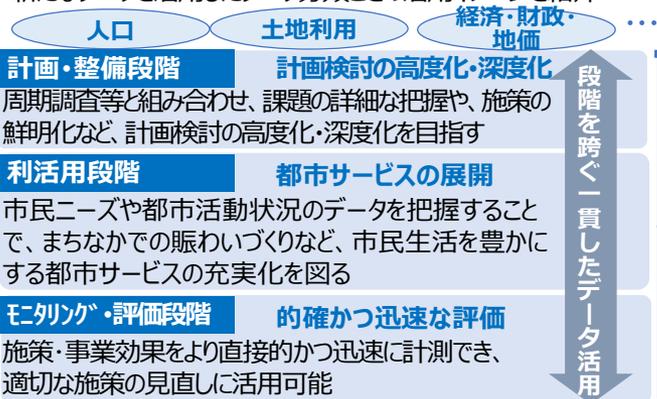
第1部 データを活用したまちづくりのヒント

第1部では、準備段階での考え方、データを活用したまちづくりの取組、官民連携やデータ管理等の留意点などを紹介。

- **まちづくりへのデータ活用に向けた準備**  
必要なデータの検討方法やデータの特徴の紹介、データの取得方法、全国的なオープンデータの紹介など
- **データを活用したまちづくりの取組**

データ活用イメージ

新たなデータを活用したデータ分類ごとの活用イメージを紹介



まちづくりの好循環の創発

各段階ごとにデータを連携させることでまちづくりにおける好循環を生む

- **データを活用したまちづくりの推進に向けた留意点**

官民データ連携の方法	まちづくりの担い手
データ活用への市民参加	パーソナルデータの取り扱い

第2部 データを活用したまちづくりの事例

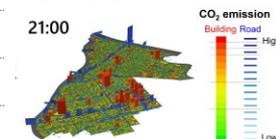
第2部では、「取組分野」別でのデータを活用したまちづくりの事例や、分析事例を紹介。具体的には、まちづくりに活用するデータについて「取得・管理」、「分析」、「活用」ごとに、実施主体・体制や方法、費用などの事例の詳細を紹介。

まちづくりのテーマ例 該当自治体等

ウォーカブル	岡崎市、札幌市、松山市、他
エリアマネジメント	新潟市、尼崎市、品川区、他
モビリティ	さいたま市、岐阜市、他
コンパクトシティ	富山市、藤枝市
観光振興	豊岡市、藤沢市、他
滞留・密対策	岡崎市、千代田区
防災	千代田区、豊島区、他
ゼロカーボン	国立環境研究所
インフラ維持管理	柏市
健康	東員町



歩行者流動・軌跡の可視化



時間別都市炭素マッピング

紹介しているデータの例  
 センサー・AIカメラ・交通IC・スマホアプリによる**人流データ**、POS・地域ポイントによる**消費データ**、センサーによる**防災データ** など